

川崎市 × 渋谷区 × 慶應義塾大学 × 専修大学 × 青山学院大学 × Delft University of Technology (デルフト工科大学) × ピープルデザイン研究所

## 「認知症の人の社会共生と課題解決」のための学生による 国際交流・共同研究プロジェクトをスタートします

川崎市では、今後も増加が見込まれる認知症の人が、地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりのため、渋谷区との自治体連携、慶應義塾大学・専修大学・青山学院大学との大学連携、オランダの Delft University of Technology (デルフト工科大学) との国際連携、NPO 法人ピープルデザイン研究所との団体連携など、多様な主体との連携により、各々の持つ様々な知的・人的資源等を活用した国際交流・共同研究プロジェクトをスタートします。

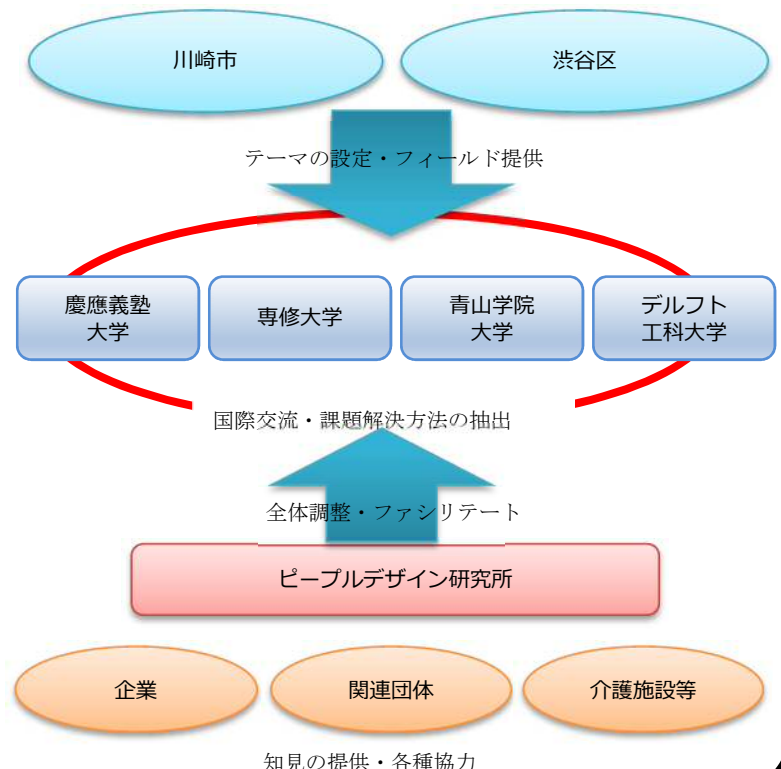
川崎市や渋谷区をフィールドとして、大学生が認知症についての理解を深め、本人、家族、支援者のニーズを把握し、その解決を図るために市民の意識を変え、行動変容を促していく方策を提案することにより、「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」に掲げられている「地域における『ケア』への理解の共有とセルフケア意識の醸成」を図ります。



### 「認知症の人の社会共生と課題解決」のための学生による 国際交流・共同研究プロジェクトの概要

日本の3大学（慶應義塾大学・専修大学・青山学院大学）とオランダの TU Delft デルフト工科大学の学生が、川崎市と渋谷区が提示した行政課題・テーマに基づき、地域の状況把握やリサーチを行い、それぞれ認知症の人の課題解決方法の検討を進め、また、定期的に skype 等を活用した国際ミーティングを行い、課題解決型サービスやプロダクト（製品企画）の提案を行います。

その成果は、日本とオランダ両国で発表していきます。

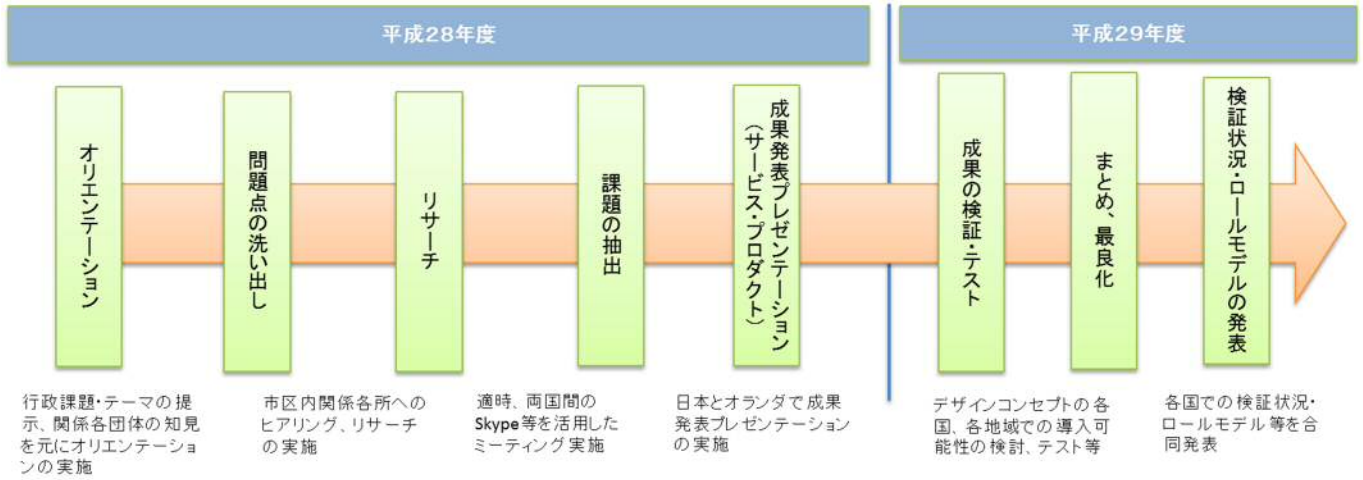


- 課題解決型サービスの提案
- 課題解決型プロダクトの提案

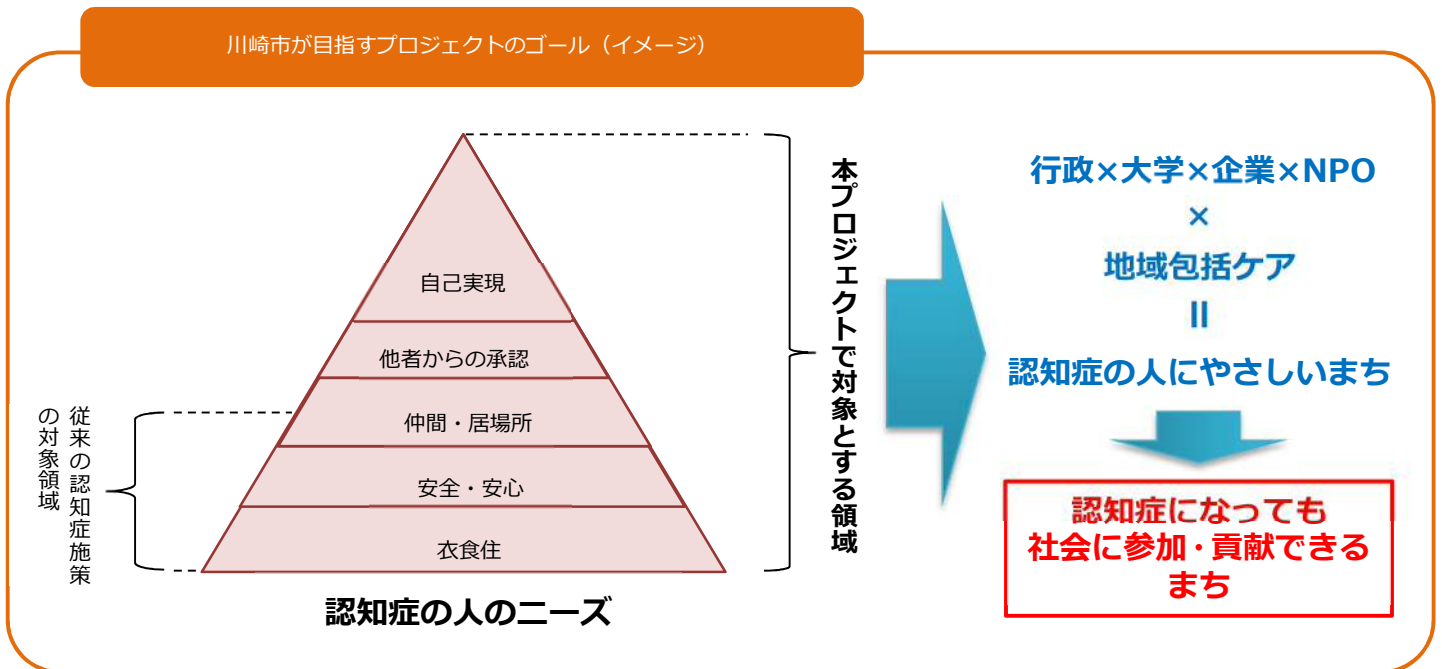
※川崎市、渋谷区、慶應義塾大学、専修大学、青山学院大学、NPO 法人ピープルデザイン研究所は本プロジェクト推進に関して覚書を締結します。

※慶應義塾大学は博士課程教育リーディングプログラム、専修大学はネットワーク情報学部、青山学院大学は社会学連携研究センターが担当します。

## □スケジュール



### 川崎市が目指すプロジェクトのゴール (イメージ)



### ※オランダ Delft University of Technology (デルフト工科大学) とは

オランダは認知症政策の先進地といわれており、“Community based care”（地域を基盤としたケア）と“integrated care”（統合型のケア）の両者を同時に試みている国の一つです。デルフト工科大学は、オランダで最古の工科大学であり、多くの高等機関において高い評価を得ているヨーロッパ屈指の名門校の1つ。認知症ケアの先進国であるオランダのデルフト工科大学と国際交流することにより、同国・同大学の成果を川崎市の取組の参考にしていきます。

### <お問合せ先>

■川崎市市民文化局協働・連携推進課（全体概要について）

電話：044-200-2017

■川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室（認知症関連について）

電話：044-200-2470